

「まとめノート」を作り、大いに「音読練習」をし、全部、覚えてしまおう
—一度学んだら、「まとめノート」を作ろう！—

開倫塾

塾長 林明夫

Q:「まとめノート」は作った方がよいのですか。

A:一度勉強した範囲について、先生の授業を思い出しながら、教科書や授業ノートなどをまとめる「まとめノート」は、何回も学び直すときにとっても便利です。是非、時間をかけて工夫しながら「まとめノート」を作成し、大いに活用してください。



Q:もう一度お聞きします。「まとめノート」とは何ですか。

A:(1)一度に答えすぎてよくわからなかったようですね。「まとめノート」とは、「一度勉強した範囲」について、「先生の授業を思い出しながら」、「教科書」や「授業ノート」などをまとめる「ノート」です。

(2)「まとめノート」を作り終わったら、大きな声でスラスラよく読めるようになるまで「音読練習」をすることが大切です。

(3)何も見ないで、スミからスミまでいえるくらい覚えると、全部、身に着きます。何も見ないですべて正確に書けるまでにすれば、更に、英語は身に着きます。

(4)計算や問題も、解き方をすべて覚えれば、定期テストや実力テスト、入学試験でもよい点数が取れます。超おすすめなのが、この「まとめノート」です。

(5)「開倫塾のテキスト」や「模試問題」、「過去問」も、要点を「まとめノート」に書き写し、その都度、すべて覚えることが大切です。



Q:「まとめノート」はどのように作ったらよいのですか。

A:教科別にお話しますね。

(1)国語

- ①古文や漢文は、「ノート」を「たて」に用いて、教科書の本文を、「ボールペン」か「万年筆」で「3行おきに書き写す」ことをおすすめします。
- ②そして、書き写した本文の横に、授業での先生の説明や教科書の語句説明、自分で調べたことを書き加える。
- ③現代文は、教科書の各段落を先生の授業を思い出しながら、「要約」する。また、教科書の語句説明を書き加える。
- ④「辞書」を用いて調べた内容も、必ず書き写す。

(2) 数学

- ①「教科書の説明」を、先生の授業を思い出しながら、書き写す。
 - ②「例題」「基本問題」「練習問題」「応用問題」など、その単元で教科書に出ている計算や問題はすべて「ノート」に書き写す。その「解答」は、計算の過程や証明を含め、すべてその下に書き記す。
 - ③「学校問題集」や「過去問」も、「単元」ごとにすべての問題を「ノート」に書き写し、その「解答」は、途中の計算や証明も含め、すべて詳細に書き写す。
- 書き写しながら、なぜそのような解答になるかを、自分でよく「理解」することが大切です。



(3) 英語

- ①教科書の本文を、国語の「古文」や「漢文」と同じように、「ボールペン」か「万年筆」で「3行おきに書き写す」ことをおすすめします。
 - ②書き写した本文の下に、授業での先生の説明や、教科書の説明、自分で調べたことを、書き加える。一つ一つの文章の日本語訳も、「えんぴつ」で書き記す。
 - ③「よく意味のわからない語句」は、辞書で意味と発音記号を調べて「ノート」に書き写す。
- 辞書は、できるだけ「英英辞典(英語で英語の意味の書いてある辞典)」を用いることをおすすめします。
- ④それぞれの単元の「練習問題」や「パターン練習」も、「問題」と「正解」をすべて書き写す。「日本語訳」も「えんぴつ」で書き記す。
 - ⑤作り終えた「まとめノート」は、単元や課ごとにスラスラよく読めるようになるまで読む練習をする。何も見ないで言えるまで暗唱の練習をする。何も見ないで書けるようになるまで、書き取り練習をする。



(4) 理科・社会

- ①教科書のポイントを、授業ノートや先生の授業を思い出しながら「書き写す」ことが第一です。
- ②「理科」や「社会」の各分野の参考書を見ながら、よくわからないところについて「説明」を書き加えることが第二です。
- ③「理科」と「社会」の資料集をよく読み、書き加えた方がよいポイントをどんどん書き加えることが第三です。



Q：最後に一言どうぞ。

A：(1)「まとめノート」は作り始めると面白くてやめられなくなります。それほど面白いのが「まとめノート」です。

(2)しかし、せっかく作った「まとめノート」も、作るだけで、それを余り活用しない人が大半なのも、厳しい現実です。

(3)そこでおすすめしたいのは、作った「まとめノート」は、その教科を勉強する前に、毎日1回、1ページから全部「声を出して読むこと」です。毎日1回声を出して「まとめノート」を読み続けることは、「まとめノート」を丸ごと自分のものとして身に着ける、「定着」さ

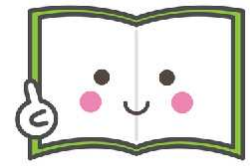


せるという、絶大な「学習効果」を生み出します。是非、挑戦してくださいね。

○「まとめノート」は、楽しみながら作ることが長続きさせる、また、最後まで作り終える「コツ」です。自分の好きなイラストを考えたり、線で囲んだり、工夫をしながらお作りください。

○「まとめノート」は、皆様の「一生の宝物」です。決して処分しないことをお願いします。折に触れ一生かけて読み直せば、「素晴らしい人生」となります。

*将来、就職活動などの勉強にも、役立ちます。



6月12日（月）